

2011 年度 な～に谷っ戸ん田 第 26 回目

雨で休みのハズなのに...

とき： 平成 23 年 10 月 15 日(土) 10:00～12:00

ところ： 谷っ戸ん田

天気： 曇り 時々 雨

参加者： 磯、久保、松本夫妻、松下 計 5 名

予定していた作業としては、

(1) コシヒカリ(ウルチ米)の籾摺り

(2) 満月(モチ米)の脱穀

(3) 喜寿(モチ米)の刈り取り

であったが、前日の段階で雨天作業延期を決定していた。園主了解済。

当日は予想通りの雨。風も強く、農作業不適の天候。延期にしといてとりあえずよかった。

ところが、9:00 過ぎに園主から緊急連絡が入る。

干していた満月が風で倒れているらしい。

米班 磯から ML にヘルプ発信し、5 名が現場緊急集合した。

作業 1: 満月の稲束を移動

倒れているポニーに見切りをつけ、稲束は先週までコシヒカリがかかっていた奥のポニーへ移動した。

石田さんのアドバイスで、竿は下段のみを使いなるべく安定をよくした。

すずめよけの紐もかけておいた。

倒れていたポニーはたんぼから撤去した。

作業 2: 喜寿の稲起し

本来であれば今週刈り入れ予定だった喜寿は、先月の台風時から 2 割程の稲が倒れており、ひどいところでは穂が地面についてしまっていた。

久保さん提案により、倒れている稲株を 4 つひとまとめにし、穂の下のあたりをひもで結んで無理矢理立たせるレスキュー措置を行った。

やっとなだ初年度に赤米が風で倒れた時に同様に施術したとのこと。

喜寿はよい感じで持ち直したように見える。

来週刈る時には今回作業で綴じたひもを外さねばならない。めんどうだが仕方ない。

作業3: ポニーの撤去

テツさんの指示により、一番奥のポニーを片付けた。

田んぼを耕耘してハウレンソウを作るのだという。そのために奥のポニーがじゃまだっらしい。そんなこと今までやってなかったですね。

お昼ぐらいになると、風もおさまり陽もさしてくるようになった。農作業OKのコンディション。久保さんが、このまま稲刈りやっしてしまおうと言い出す。でもなー、人が集らないだろうし... ということで本日の作業はここでおしまい。

和久さんと会う。

やっとなだにレンゲの種を蒔いておいたよ、とのこと。

レンゲは根粒菌の働きでチッソ固定機能を持つ肥やし植物で、たんぼのためには大変よろしい。

ただ、レンゲの開花は5月中旬なので花を待っていると田起しが少し遅くなってしまった。

和久さんはハチミツのために花が欲しいんでしょ、と聞いてみたところ、花は欲しいが遅くなるので別にかまわないよ、とのことでした。

レンゲの花に未練をもっているのは、和久さんではなく、写真家の久保って人だという話もあります。

作業後、テツさんと会う。

刈り払い機の置き場所のことを伺う。

広場に置いてある物置を、やっとなだ奥のハウス脇に移動してそこに保管することでよいのでは、と言われる。

カギが欲しいね。合鍵を調達するか、あるいは刈り払い機用に小振りの物置をもうひとつ調達するか、と議論する。

鍵の管理方法も考える必要がある。番号式の南京錠がいいのでは、とか。

いずれにしても、置き場所が調整できたので刈り払い機購入を具体化させましょう。

ヨド物置の合鍵を調達してくれる業者は沢山あります。

磯はこの前、自宅の合鍵を鴨居ロックセンターというところで作りました。ここでやってくれるんじゃないかな。

次回は 10月22日(土) 脱穀(満月), 稲刈り(喜寿), 糶摺り

報告者: 磯 直行
以上